

東大和三中だより

令和元年7月16日

7月号 (No.4)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

他人に優しく、自分に厳しく

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

7月6日(土)にハミングホールで中学生意見発表会が行われました。市内中学校の代表者が、社会を明るくするためそれぞれの学校での取組について発表しました。本校の代表生徒は、ボランティア活動について発表してくれました。

毎春の出身小学校における運動会のお手伝い、地域清掃、東京街道団地での高齢者訪問、五地区祭り等々、年間延べ200名を優に超えるボランティア参加者の活動は、本校の伝統として根付いています。「誇りある三中」という言葉の通り地域に根ざした活動の数々を改めて紹介されると、三中生が地域のために頑張っている姿を誇りに感じました。

前号で「人の役に立っていると感じる経験の積み重ねが自信につながる」と書きました。ボランティア活動は、まさに「人の役に立っていると実感できる体験」の最たるものです。今年も多くの生徒の参加を期待しています。

ところで、昨今のメディアを通して有名人の失敗等のスキャンダルを大々的に報道して、それを世間が徹底的に批判するという図式が目立つようになりました。例えば、お笑い芸人が「闇営業」(事務所を通さない営業活動)で報酬を得たことや、営業先が反社会的な団体だったことなどが問題になって、関係者はこれ以上ないくらいに叩かれています。確かに、その行為自体は責められるべきものなのでしょうが、批判の凄まじさと徹底ぶりには閉口してしまいます。

人間誰しも失敗することはあるでしょう。完璧な人間なんていません。今の世の中は「他人に厳しい」人が多いため、なんだかギスギスしているように感じます。悪いことは悪い。でも、そこに「許し」がないのはどうでしょうか？

世の中の全ての人々が「他人に優しく、自分に厳しく」なれば、もっと住みやすくなるのになぁ……と夢想します。ボランティア活動は、他人への優しい気持ちを育てる第一歩になるとも私は考えています。

さて、7月20日から8月25日まで夏休みになります。この37日間をどのように過ごすのかは、三中生一人一人の心の持ち方で決まってくると思います。ボランティア活動は一つのヒントですが、普段できないことにチャレンジして充実した夏休みを過ごしてください。

中学生意見発表会

7月6日（土）、梅雨空の午後に、東大和ハミングホール大ホールにて、「中学生意見発表会」が行われました。市内の各中学校から計5組が、「地域の繋がりをとおして、助けあい尊重しあえる社会をつくる」というテーマで発表をしました。



三中からは、生徒会長が下記の原稿で、スライドを使った発表をしました。



司会も含め、会の運営は市内中学校から名乗り出た29名の実行委員の手で主体的に行われました。

地域のボランティア活動を通して思ったこと

3年

私たち三中生は、様々なボランティア活動を行い、地域との関わりを深めています。今日は、それぞれのボランティアの紹介と、実際に活動を経験して私が思ったことを発表します。

5月、六小運動会のお手伝い

三中の隣にある六小の運動会で、用具の準備や設置、片付けなどを手伝います。参加者はほとんどが六小出身です。小学生とふれあい、運動会という大きな行事にたずさわれるやりのがら、毎年多くの生徒が参加します。

9月、五地区まつり

第五小学校で、輪投げやボーリングなどを楽しめるゲームコーナーを開き、小さい子供たちや小学生と交流し、楽しんでもらいます。

私たちは、小さい子供たちとふれあいながら、思いやりや、やさしい気持ちをもって接していることに気付きます。

また、小学生は中学に上がってから、そのときのことを思い出して、自分も同じように参加するようになるかもしれません。やさしい気持ちが未来につながっていくとてもよい機会だと思います。

10月、みんなでおそうじ

三中地区の各場所から、ごみを拾い集めながら歩き、最後に上仲原公園に集合するという活動です。三中生は、実行委員を募集し、自主的に運営に関わっています。

ここ2年間は、雨天により中止になってしまいました。街をきれいにしてほしいという気持ちもあって、よりよい街づくりを図れるすばらしい活動ですので、今年こそは晴れることを願っています。

今年、10月5日の土曜日に行う予定です。

下は、それぞれの活動の紹介に使ったスライド写真です。



1 1月、東京街道団地ボランティア

三中の東にある街道団地にお住まいの高齢者の方々のお宅を訪問し、自治会からのプレゼントを手渡し、お声かけをさせていただく活動です。

この活動は、20年近くも続いている歴史あるもので、去年は150名の生徒が参加しました。



1 2月、五地区もちつき大会

地域の方々といっしょにおもちをついたり、つくたてのおもちをきなこやあんこで味付けし、みなさんにふるまったりします。

五小で行われ、去年は3年生のみ40名ほどが参加しました。



これらのボランティア活動を通して、三中生は地域の中で生活し、地域に貢献していく自覚をもってきました。私は、先ほど紹介した街道団地ボランティアに参加し、それを強く感じました。

あるお宅を訪問したときの事です。その方は、足が少し悪く、ゆっくりながらも玄関で私を出迎えてくださいました。その方が、最初におっしゃったのは「毎年、毎年ごていねいにありがとうございます。若い子たちには元気をもらいます。」という言葉でした。この言葉の中に、私はこの活動の歴史の長さと、三中の先輩たちが地域の中でずっと貢献してきたことを実感しました。

三中のスローガンは、「誇りある三中」です。地域の一員として、誇りをもってボランティア活動に参加する伝統をこれからも大事にしていきたいと思います。



発表者全員に尾崎市長から感謝状が
おられました。



五中の生徒会は、寸劇を
取り入れて、身近に困って
いる人がいたらすすんで助
けようと訴えかけました。

お願い～「学校閉庁日」について～

以下の期間は「学校閉庁日」となります。ご理解のほど、お願い申し上げます。

令和元年8月13日（火）から16日（金）の4日間

- ・ 学校への来訪や電話等は、この期間以外にお願いいたします。電話対応につきましては、電話応答メッセージでの対応となります。
- ・ 緊急に連絡が必要な場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

東大和市教育委員会 教育総務課・教育指導課 市役所5階にあります。

電話番号 042-563-2111

受付時間 8時30分から17時15分まで

「三中日記」より今回は、外部の人材を活用した取組の特集です 三中ホームページにて、鋭意更新中！

6月21日（金）2年 「夢・未来プロジェクト」



東京都のオリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環として、各学校にアスリートが来校しています。これは「夢・未来プロジェクト」という名称の事業です。本校には、フットサルのFリーグ得点王にも輝いたことがあるボラ選手が講師として来てくれました。

（写真 左）体育の時間に、フットサルの実技練習を生徒と一緒に行いました。

1対1でのボールタッチ・パスの練習です。

（写真 右）保健体育科教員、サッカー部顧問との1対1のプレー。

7月9日（火）3年 進路学習会

高校の先生をお招きして、高校の特徴や、今やるべきことについて具体的に話していただきました。

来校してくださったのは、都立東大和高等学校・都立多摩工業高等学校・私立昭和第一学園高等学校の3校です。

それぞれの学校の特徴や進路先などをわかりやすく説明してくださったので、3年生にとってたいへん参考になったと思います。



7月13日（土）クリーン活動



毎年恒例の「クリーン活動」が行われました。「日本を美しくする会」の方々のご指導のもと、トイレを磨き上げ、トイレも心も美しくするという活動です。60名以上の生徒及び保護者の方が参加してくれました。

手には、皮膚を保護するクリームを塗ってから作業をします。スポンジなどを使って、素手で磨くことに最初は抵抗があったようですが、だんだんと夢中になり、無言で磨いていきます。